

—総括表—		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 高齢化率が高く山坂も多いエリアですが、移動販売車の運行が始まり買物困窮への対策が進んできています。また、住民の健康意識が高く、自治会町内会、ボランティア活動に熱心な住民が多いのも特徴です。しかし、高齢化が進み活発であった活動を引き継いでくれる担い手を確保するのが難しい現状です。今後は、多世代交流の機会を増やし、住民同士が支え合う仕組みづくりを目指します。		
—具体的な取組内容—		
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・関係機関のネットワークを強化し、支え合い見守りマップを作成する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・西金沢地域支え合いネットワーク、支え合い連絡会、民生委員連絡会、出張相談、サロン等、地域住民との交流の場を活用し、課題を抱えた世帯、個別ケースの吸い上げ、情報の共有を強化する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・移動販売車運行の周知の拡大や、更に便利に使えるように駐車場所の見直し、追加を行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・見守りホルダー「まもるくん」を拡げ、高齢者が安心して外出できる仕組みをつくる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・コロナ禍でも密にならない芝生や近隣公園にて事業を開催する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・ちよいボラのマッチング掲示板をつくる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・敷地内に「にしかな農園」をつくり、子ども・障害・高齢者・引きこもり・閉じこもり・不登校の方等、誰もが自由に参加でき、地域交流・社会参加の機会を創出する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・ケアプラザ主催の介護予防講座の開催回数を増やす。 ・元気づくりステーションを新規で立ち上げる。
◆ <input type="checkbox"/> 振り返り		
今年度は、ケアプラザの圏域が拡がり新たな地域住民との出会い、そして新たな取り組みを進めた年となりました。高齢者が安心して外出できる見守りホルダー「まもるくん」事業を立ち上げ、地域に拡げる事ができました。また、コロナ禍を鑑み、発展させた取り組みとしてケアプラザの広い芝生やテラスを活用した介護予防講座も多数開催し、また、青空の下園芸ボランティアさんと畑を作り、出来た野菜をデイサービスご利用者さまや地域の方と収穫を楽しみ、誰でも参加ができる”にしかな農園”をつくりました。移動販売については、駐車場所の見直しを行い、新たな圏域地域への運行も開始しました。また、移動販売を通して地域の方との交流や見守りの輪が広がり、最大の目的であった、支援を必要とする方がケアプラザとつながる事もできました。今後も感染対策をしっかりと行い高齢者の体力・気力を落とさないよう、また地域住民が孤立しないよう安心して集える場をたくさん提供していく事がケアプラザの大きな役割であると改めて思いました。今後とも地域ニーズに寄り添い活動を継続して参ります。		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		
圏域の変更に伴い、新たな地域のニーズに応じて見守りホルダー「まもるくん」事業を展開され、早くも定着してきています。また、民生委員をはじめとする地域関係者との信頼関係に基づいて地域の声を丁寧に吸い上げながら移動販売の停留場所や時間の変更等に対応していただき、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを推進していただきました。 事業についてはコロナ禍で当初の計画どおりに展開できない1年であったかと思いますが、感染対策に留意されながら最大限に誰もが参加でき、得意や経験が発揮できる場づくりに努めていただきました。今後も課題を抱える世帯や制度の狭間の世帯などが増加することが予測されているため、ケアプラザが一体となり地域の課題やニーズに寄り添った事業を展開・継続していただくようお願いいたします。		